

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

11 住み続けられる
まちづくりを

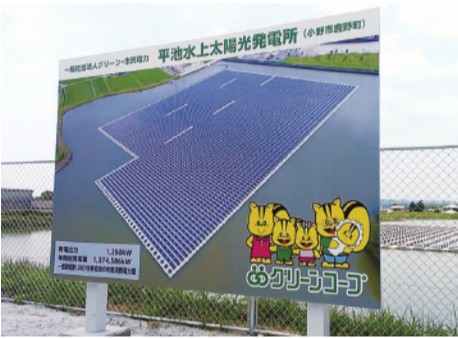
12 つくる責任
つかう責任

グリーンコープ生協
ひょうごご発

原発のない社会を
地域の人々とともに作りたい

平池水上太陽光発電所の パワコンが子どもたちの 絵で彩られました

パワコンの側面にラッピングされた、子どもたちの絵。太陽を添えて大きく育つひまわり(左)と平池に棲む生きものたち(右)。



平池水上太陽光発電所は、定格出力1260kW、約380世帯(鹿野町のほぼ3分の1世帯)分を発電しています

東京電力福島第一原発事故をきっかけに、グリーンコープは原発に頼らない電気をつくらうと、一般社団法人グリーンコープでんき(旧:一般社団法人グリーン・市民電力)を設立し、再生可能エネルギーによる市民発電所づくりをすすめています。

平池水上太陽光発電所(兵庫県小野市鹿野町)は、グリーンコープの市民発電所の一つです。2020年夏、発電所のパワーコンディショナー(以下、パワコン)が、グリーンコープ生協ひょうご(以下、ひょうご)の子どもたちの描いた絵でラッピングされました。取り組みの経過と組合員の思いを紹介します。

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

2021 2月

発行: 一般社団法人グリーンコープ共同理事会
編集: 共生の時代・編集部
〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング3階
TEL092(481)7923
FAX092(481)7876
https://www.greencoop.or.jp/

Contents

水保・熊本みらい基金報告	2
とっとり発 チェルノブイリ学習会	3
グリーンコープの 豆腐・納豆用大豆について	4
酪農生産者交流会	5
連合会・共同体委員会紹介④ 共同体福祉委員会	6
2020年度第一回 福祉拡大学習会	7
イチオシ! 贅沢カレー	8

別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)」を掲載

ひょうごご理事会では、平池に発電所づくりを決めた後もたびたび平池を訪れ、完成までの様子を視察してきました。また、農業用水として田んぼや畑に使う平池の水に影響がないか調査する水質検査にも立ち会いました。

その後も地域の皆さんと出会い、つながりを大切にしようとして、自分たちができることを考え取り組んできました。2019年夏には、組合員やその子どもたちが参加して地域の皆さんと交流会を行い、池に棲むゲンゴロウなどの小さな虫や亀の様子を観察して楽しみました。

2016年7月に売電を開始した平池水上太陽光発電所は、福岡県の神光発電所、福島の神光発電所、福島の神光発電所として建設されました。

ひょうごご理事長の清水園子さんは、「発電所ができることで、地域の皆さんと出会うことができました。グリーンコープの運動を伝え、原発反対を声高に訴えるのではなく、太陽光など自然エネルギーを使うことへの思いを自分たちの言葉で伝えていくことが、とても大事だと思えます」と、思いを語りました。

兵庫県は日本一ため池の多い県です。平池水上太陽光発電所は、ため池の水面にフロートタイプの太陽光パネルを浮かべて発電します。地域の自治会と使用契約を結び、ため池の使用料を地域に還元しています。

太陽光発電所があることをもっと多くの地域の皆さんに知ってもらいためにどうしたらいいか検討する中で決まったのが、「発電所のパワコンに絵を描いて見てもらおう」という企画でした。さっそくデザインを募集するチラシを作り組合員に配布しました。そして、組合員の子もたちから寄せられた絵でパワコンをラッピングすることになりました。太陽の光をいっぱい受けて大きく咲くひまわりと、自然豊かな平池



子どもみわり大使とひょうごの組合員と子どもたち(2019年)

に棲むたくさん生きものたちが生き活きと描かれたパワコンは、これまでのイメージから、楽しく明るい雰囲気へと生まれ変わりました。

ひょうごご理事会では、パワコンのラッピング完成を記念して、1月22日、オンラインでの「グリーンコープでんき学習会」を開催。組合員やその家族など約20人が参加し、グリーンコープの発電所づくりの歴史を学びました。また、地域とのつながりや多くの出会いを大切にしているからこそ、自然エネルギーによる発電所づくりが実現していることについても理解を深めて、さらに原発に頼らない社会をつくりたいという思いを強くしました。

子どもたちの未来のために私たちにできること

ひょうごごは2019年夏に、福島から「子どもみわり大使」を迎えました。子どもみわり大使と数日をともに過ごす中で、福島で暮らす子どもたちが復興に向けて将来のことを考えたり、原発のない社会をつくるためにどうしたらいいか考える姿に接しました。理事長の清水さんは「ひまわり大使との交流は、理事会メンバー一人ひとりが脱原発に目を向け、考えるきっかけとなりました」と当時を振り返りました。

※NPO法人シャロームが行っている支援事業「ひまわりプロジェクト」の一環として行っている福島の子もたちによる交流活動

新型コロナウイルスの感染拡大によって、活動のスタイルは変化していますが、発電所があることを活かして新しい活動に取り組みようと意気込んでいます。今後も、子どもたちの未来のために自分たちができることはなにかを考え、取り組みをすすめていきます。

2021年7月
シャボン玉月間
ポスター募集
～せつけん運動ネットワーク～

応募締切り
2月19日(金)

詳しくは4面でご案内しています

めグリーンコープ

グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



いのち 生命の重みや人間の尊厳を 未来に語り継いでいく



助成活動報告

水俣・熊本みらい基金が助成する 事業や活動

- (1) 水俣病事件が問いかけることを後世や世界に伝えていく事業や活動
- (2) 熊本地震の被災地復興事業や活動
- (3) 水俣薄原太陽光発電所の周辺地域における環境保全事業
- (4) 水俣と福島に通底する社会問題・政治問題を解明する研究活動
- (5) 水俣・熊本と福島や他の地域を繋ぐ交流活動や人材育成活動
- (6) 熊本の自然エネルギーを推進する事業
- (7) 熊本の地域資源を活かし、地域住民の暮らしを豊かにする事に資する事業
- (8) その他、この基金の目的を達成するために必要な事業



No.150

持続可能な 自然エネルギーを活かす道

国のエネルギー基本計画では、原子力発電を「重要なベースロード電源」として位置付け、電力の優先順位を原子力発電・石炭火力発電・一般水力発電・地熱発電とする方針を示しました。

2016年から電力小売全面自由化に伴い、ようやく電力会社を自由に選べるようになりました。グリーンコープはもちろん、危険な原子力発電に頼りたくない、再生可能エネルギーを推進したいと考える新電力が多数参入しました。福島第一原発事故後すべての原発が稼働しなくても停電になることはありませんでした。

2020年10月26日、首相が所信表明演説で「2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロの実現に向けて、原子力政策をすすめる」と表明しました。これからの政府の動向に注視し、電力の安定供給のための原子力発電は必要ないと声をあげ、ベースロード電源の見直しを国民として求めること、それが私たちの責任です。

グリーンコープ共同体組織委員会

一般社団法人グリーンコープでんきから

ひろがれ! 私たちの発電所

グリーンコープ・グリーン電力出資金
11,519人 1,117,824,000円 (2021年1月18日現在)

「原発の電気ではなく、自然エネルギーでつくった電気を使いたい」という願いをかなえるために、グリーンコープ・グリーン電力出資金に協力しましょう

2020年11月の売電量	グリーン未来ソーラー売電量 30,017kWh 定格出力376kW(110世帯相当)
神在太陽光発電所売電量 80,494kWh 定格出力1,057kW(309世帯相当)	若宮物流センター太陽光発電所売電量 3,053kWh 定格出力47kW(14世帯相当)
平池水上太陽光発電所売電量 101,389kWh 定格出力1,260kW(368世帯相当)	広島物流センター太陽光発電所売電量 3,847kWh 定格出力47kW(14世帯相当)
深年太陽光発電所売電量 145,380kWh 定格出力1,550kW(453世帯相当)	グリーンコープやまくち生協 西部地域本部太陽光発電所売電量 4,313kWh 定格出力54kW(16世帯相当)

人と人が共生する地域の創出をめざし、地域で活動する団体を支援

「つんなう基金」では、地域の活性化や生命を守る事業や活動に取り組む団体などを支援するために基金を活用しています。その原資には、全国ご当地エネルギー協会が運営する「水俣薄原太陽光発電所」と、グリーンコープでんきの「グリーン未来ソーラー(グリーンコープ生協くまもとエリア)内10カ所の発電所」の売電収益の一部を充てています。

2019年度(第一期)は、4月に水俣市と益城町で助成に向けた説明会を開催し、22の団体から申請がありました。助成委員会では、全体で300万円という限られた原資を、18の団体に助成することを決定し、10月末に交付を終えました。

2020年度(第二期)は、2020年11月19日、各助成団体も参加して活動報告を行う予定でした。新型コロナウイルス感染症が拡大したため、総会の開催は一旦延期となりましたが、水俣病が公式確認された日と同じ5月1日には「未来に向けた声明」を発表。地球温暖化による危機的な状況の中、再生可能エネルギーの取り組みをどのように推進していくか、私たちの生き方そのものについて問いかけてきました。

2021年は、水俣病公式認定から65年、東京電力福島第一原発事故から10年、熊本地震から5年という節目の年です。「つんなう基金」では、そのことを意識した取り組みがすすめられます。



2021年度(第二期)の助成について検討されました。その結果、新規の募集は行わず、第一期の助成団体のうち、継続的な活動を行っている10団体に引き続き助成することが確認されました。

2021年度(第二期)の助成について検討されました。その結果、新規の募集は行わず、第一期の助成団体のうち、継続的な活動を行っている10団体に引き続き助成することが確認されました。

公害の原点と言われる水俣病事件、そして2011年に起きた福島の原発事故は、どちらも経済が優先され、生命や地域が軽んじられた結果、大切な人の生命や自然が犠牲となった出来事だと言えます。

こうした事件や事故を生んだ歴史と今を未来に語り継ぐとともに、熊本地震の被災者に寄り添い、人と人が共生する地域の創出をめざして、2019年4月、グリーンコープと全国「ご当地エネルギー協会」が中心となり、一般社団法人「水俣・熊本みらい基金」(以下、「つんなう基金」)が設立されました。2019年度と2020年度の助成について報告します。

オンラインで行われた会議の中で、2020年度(第二期)の助成について検討されました。その結果、新規の募集は行わず、第一期の助成団体のうち、継続的な活動を行っている10団体に引き続き助成することが確認されました。

水俣・熊本みらい基金 2019年度(第一期) 助成団体と助成対象となった活動

- 劇団天然木公演 実行委員会
- 水俣に関する水俣条約推進ネットワーク
- 天幕 汐さ in 水俣 実行委員会
- 安定ヨウ素剤ネット くまもと
- その他の助成団体
 - NPO法人みなまた
 - NPO植物資源の力
 - フォトグラフィームッション水俣
 - T O H C H (トーチ)
 - 一般社団法人環不知火プランニング
 - 水俣病事件資料集編纂委員会
 - 一般社団法人水俣病センター相思社
 - NPO法人みるくらぶ
 - 阿蘇の灯
 - おひさまカフェ
 - すがるの里
 - 東無田復興委員会
 - 南阿蘇復興センター
 - NPO法人くまもと未来ネット

以上、18団体

子どもを守るために どうなってるの放射線?

2020年11月9日(日) 14:00-16:00 (開場13:30)

放射線に関する基礎知識や、子どもへの影響について学び、放射線計測器の使い方を体験しよう

汐さ 汐さ in 水俣 LIVE in 水俣

9月6日(日) 14:00-16:00 (開場13:30)

水俣病について忘れずに、次世代に語り継いでいくために、水銀汚染の埋め立て地であるエコパーク水俣で野外ライブを開催

つなぐ 水俣の未来

10月20日(日) 14:00-16:00 (開場13:30)

「水俣病を忘れない」をテーマに、水俣病に関する音楽や映像を交えて、水俣病の歴史や現状について語り継いでいく

〈助成対象となった活動〉
放射性物質の危険性や子どもの甲状腺がんについて学ぶとともに、安定ヨウ素剤について学習会や講演会を開催

〈助成対象となった活動〉
水俣病について忘れずに、次世代に語り継いでいくために、水銀汚染の埋め立て地であるエコパーク水俣で野外ライブを開催

〈助成対象となった活動〉
日本におけるミツバチの生態系から、自然との共生や環境問題を考える趣旨のミュージカル作品等を公演

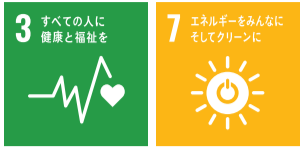
水俣条約 COP3 報告会

2021年11月18日(木) 14:00-16:00 (開場13:30)

水俣条約第3回締約国会議(COP3)への参加と全体会議での登壇。帰国後に報告会を開催

〈助成対象となった活動〉
2019年11月にスイス・ジュネーブで開催された、国連の「水俣に関する水俣条約第3回締約国会議」(COP3)への参加と全体会議での登壇。帰国後に報告会を開催

〈助成対象となった活動〉
2019年11月にスイス・ジュネーブで開催された、国連の「水俣に関する水俣条約第3回締約国会議」(COP3)への参加と全体会議での登壇。帰国後に報告会を開催



NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク出前学習会

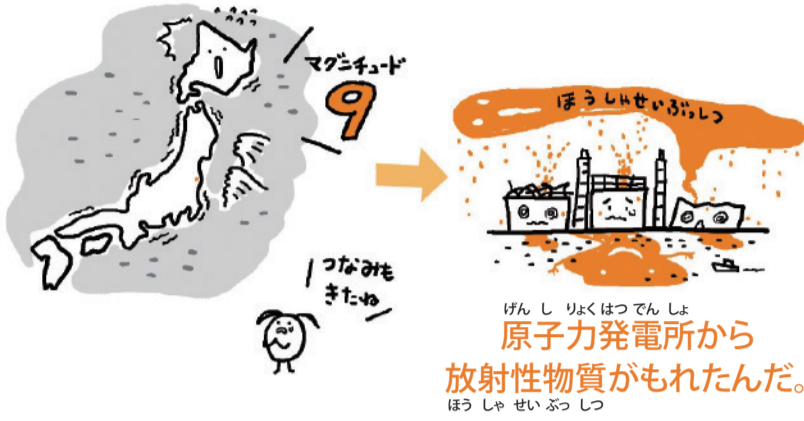
原発事故から私たちが学ぶこと

「チェルノブイリから34年 福島から9年」

グリーンコープは、「生命・自然・暮らし」を脅かす原発とは共存できないと考え、原発のない社会の実現をめざしています。

2020年10月19日、グリーンコープ生協とっとりでは、NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワークより木村真三さんを講師に招き、オンラインで学習会を開催しました。講演の要旨を報告します。

Q:放射能って、いつまで気をつけるの？



A: 私たちが生きている間ずっと

二本松市の小中学校の放射線出前授業で使用している資料より

木村真三さん
 獨協医科大学准教授、同学国際協力支援センター国際疫学研究室福島分室室長。
 2011年3月に起こった東京電力福島第一原発事故直後から福島へ入り、被災地の住民とともに放射能汚染の調査を続けている。

放射能汚染は、月日が経つにつれ地中深くに広がっていきます。長泥地区の汚染が残っている地域で野菜を栽培する実験をして、放射性物質が検出されなかったから安全ですと発表されていますが、本当に安全かというところが、本当に安全かとするとそれはわかりません。野菜の種類によって放射性物質の取り込みやすさは違うため、放射性物質を濃縮しやすい野菜で検

査をすれば、確実に基準値を超える結果が出ます。国はそのような事実を公表せずに帰還政策をすすめようとしています。世代を超えて続く放射能汚染

福島県飯館村は、東京電力福島第一原子力発電所から30km以上離れた場所に位置します。現在は村の80%の地域で避難指示が解除され、長泥地区だけが解除されています。村は長泥地区の避難指示を解除してほしいと国に要望を出しました。本来ならば、放射性物質の除染をした後に帰還指示を出さなければいけないのですが、国が最低限の除染もせずに例外的に認めてしまったということが新聞で報道されました。住民が住まない地区に除染は必要ない、無駄な税金を使う必要はないという言い訳のもとに、避難指示が解除されようとしています。

セシウムの負の物質循環
セシウムが地中に拡散せずに地表に集まり、物理学的半減期では説明できない半減期が出現している。



二本松市の小中学校の放射線出前授業で使用している資料より

私は福島県二本松市で放射線アドバイザーを務めています。小中学校で放射線出前授業を行い、2011年に何が起こったのかを、当時を知らない子どもたちに伝えていきます。放射性物質は、ある一定の時間が経てばその量は半分になり、さらに時間が経てばその半分になります。ある日生徒が「先生、今年のモニタリングポストの数値が去年と変わりました」と言ってきたら、「モニタリングポストの数値が半分減る」ということになっています。放射能汚染は、月日が経つにつれ地中深くに広がっていき、長泥地区の汚染が残っている地域で野菜を栽培する実験をして、放射性物質が検出されなかったから安全ですと発表されていますが、本当に安全かというところが、本当に安全かとするとそれはわかりません。野菜の種類によって放射性物質の取り込みやすさは違うため、放射性物質を濃縮しやすい野菜で検

値が変わらない、物理学的半減期とは違う説明のできない現象は、チェルノブイリでも現れています。針葉樹でも3年毎に葉が生え変わることで、放射性物質が付いた葉が落葉によって地面に溜まります。放射性物質のセシウムは、植物の三大栄養素の一つであるカリウムと同じ性質のため、植物は必要な養分と間違えて根から吸収し濃縮していき、福島は寒いので、落ち葉が土に戻るのに約3年かかります。放射性物質が地中で拡散せず、植物によって吸収され、こうしてセシウムの負の物質循環ができ上がります。大変なことが福島の山の中で起きているのです。植物の作用によって半減期が延びることで、放射能がずっと気をつけて生活していかなければならなくなります。これが放射能汚染の怖いところで、ひとつは原発事故が起きてしまうと自分たちでは解決できなくなるというところに気づいてほしいと思います。

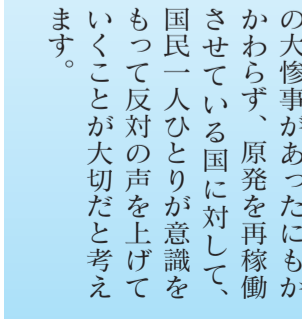
原発事故で放出されたセシウム137の物理学的半減期は30年です。あと21年で半減期がききまが、まだ15%ほどしか減っていません。今12歳の子供も、その時33歳。もしかしら自分の子どもが小学生かもしれない。さらにその半減期には63歳となり、孫がいるかもしれない。そのような話をすることで、子どもたちは原発事故を身近な問題として考えるようになります。



放射線観測をするモニタリングポスト(2020年12月 福島にて)

私は、チェルノブイリと福島を年に数回往復しながら汚染地域の調査を続けています。チェルノブイリ原発事故の最大の被災国は、チェルノブイリのある現ウクライナの隣国の現ベラルーシ共和国。風の流れによって放射性物質が運ばれたことによりひどく汚染され、甲状腺がんが多発しています。事故当時は子どもだった人が大人になり、34年経った今もなお、甲状腺がん患者は増え続けています。しかし、原発事故によって甲状腺がんが起これらというものが認められるまでに10年もかかりました。日本からエコー装置や内部被ばくの測定器、医師の派遣

を続けたことで、詳しい検査ができるようになり、多発の事実がようやく認められたのです。いまだにチェルノブイリ原発事故は終わっていません。チェルノブイリと福島では事故の構造は違いますが、住民の健康被害については、福島でもチェルノブイリとよく似た症状が出ることは間違いありません。福島では、1回目の甲状腺検査を約30万人が受診し、116人ががんの疑いがあるという結果が出ました。しかし、その後回数を重ねるにつれ、本来ならば増えるはずの検査を受ける人が減り続けています。1回受けたからもう検査しなくていいだろうと判断する人がいたり、重症化するおそれのある人が健康調査から除外されるなど、きちんと集計されていないのが実状です。



原発付近に積まれた汚染土が入ったフレコンバッグ(2020年12月 福島にて)

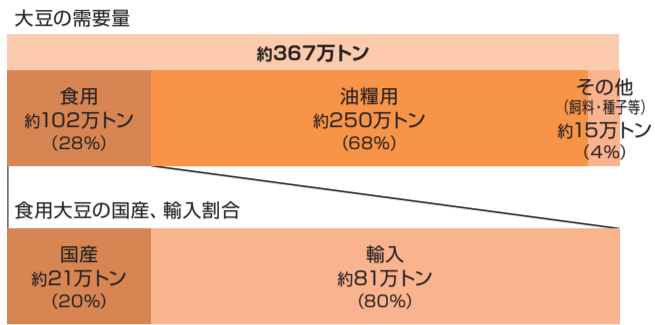
一方、福島では、原発事故後に生まれた子どもは、検査を受けることができません。国や県は、現時点で福島の甲状腺がんは原発由来とは考えにくいとしています。そのような結論付けには時期尚早で、経過観察を続けることが必要です。地道にデータをとって検査の大切さを訴え続けることが科学者の役割です。レベル7(チェルノブイリと同レベル)の未曾有の大惨事があったにもかかわらず、原発を再稼働させている国に対して、国民一人ひとりが意識をもって反対の声を上げていくことが大切だと考えます。

チェルノブイリ原発事故後、ベラルーシでは2万人の甲状腺がん患者が見つかりましたが、亡くなったのは8人でした。甲状腺がんによる死亡率が低いのは、毎年検診が行われており、受診率も98%と高く、早期発見と早期治療を行っているためです。今でも新生児から検査を行っています。

未来のために検査を続ける大切さを訴える
 広島、長崎では原爆が投下されて60年を経過した頃から、被ばく者の中に骨髄異形成症候群が確認されるようになり、増え続けています。広島、長崎の人たちは、75年経った今もなお苦しんでいます。



日本の大豆の需要状況 2019年 (概算)



日本の大豆の需要総量約367万トンのうち食用は約102万トン。食用のうち国産は約21万トン。需要量のうちの国産の割合(自給率)は6%しかない。

グリーンコープが確保している大豆を原料とする商品

豆腐 (フクユタカ)		もめん豆腐・(小)もめん豆腐・絹ごし豆腐・(小)絹ごし豆腐・焼き豆腐・阿蘇の伏流水をつかった絹豆腐
揚げ類 (フクユタカ)		厚あげ・絹厚あげ・生あげ・うすあげ・すしあげ・きざみ揚げ
加工品 (フクユタカ)		一口がんも・五目がんも・餅入りきんちゃく・味付いなりあげ
納豆 (フクユタカ) スズマル		九州産中粒納豆・九州産中粒ひきわり納豆・すずまる小粒納豆・すずまるつゆだく納豆

グリーンコープは、豆腐・揚げ類や納豆の原料となる大豆を、国内の産地と契約して確保しています。また、さらに安心できる大豆にしていくための努力を続けています。

グリーンコープが確保している大豆の状況を伝えます。

契約栽培により 国産大豆を確保

グリーンコープは日本の農業を応援し、食糧自給率の向上をめざしています。日本の大豆の自給率はわずか6%という現状。国産大豆を使った豆腐や納豆は市場にもありますが、グリーンコープの豆腐や納豆に使われる大豆は、生産者を限定した100%国産のものです。

※カローリースー。2019年度農林水産省。

豆腐や揚げ類、九州産中粒納豆などの原料大豆は、エタカは、福岡県のJA筑前あさくら、JA柳川、JAむなかたの3農協で、すずまる小粒納豆などの原料スズマルは、北海道のJAむかわで生産される大豆を確保しています。生産者は契約栽培により安定して生産を続けることができます。日本の大豆と生産者を守る取り組みにもなっています。

輸入大豆とグリホサートの問題

日本で消費する大豆のほとんどを輸入に頼っている状況ですが、輸入大豆の大半は遺伝子組み換えGMOです。GMOそのものの危険性も指摘されていますが、近年、GMO栽培に使われるラウンドアップなど除草剤の主成分グリホサートの危険性が明らかになってきました。グリホサートには発がん性、神経毒性、生殖や出産への影響があり、アレルギーや発達障害などの一因とも指摘されています。ラウンドアップは、海外では収穫時期を調整するために、収穫前の作物に散布されることも多い状況です。

輸入大豆とグリホサートの問題

グリーンコープは「グリホサート不使用の大豆から作られた豆腐や納豆を食べたい」という組合員の願いを、かねてから生産者側で伝えることができました。生産者もできるだけ除草剤を使わずに栽培する努力を続けています。

グリーンコープの 大豆・納豆の 原料大豆は 100% 国産 です。



2020年度 納豆用・豆腐用大豆 生産者、メーカーとの交流会 2020年11月9日

JA全農

JA全農 九州麦類 農産事業所 齊藤 裕樹さん

JA全農ふくれん 農産課 清原 正光さん

組合員

連合会 商品おすすめ 委員 柳田 恭子さん

最後のあいさつで、感想を述べました。
「生産者の方々が頑張って生産された大豆を、メーカーの方々が大切に製品にされていることが伝わりました。遺伝子組み換えやゲノム編集の心配のない国産大豆の生産を増やすためには、消費者がきちんと選ぶ目を持ち、しっかり利用することが大事です。私たちはグリーンコープの安心な大豆製品を選ぶことができるということを、多くの人に伝えていきたいと思っています。」

大豆の栽培のようすと作柄について報告がありました。
「2020年産大豆は、7月の長雨の影響などにより生育量はやや少ない見込みですが、努力と工夫で高品質な大豆をめざしています。」

世界と国内の大豆の情勢について報告がありました。
「国産大豆のニーズが高まっていますが、供給を増やすには、天候不良などによる生産量や品質の不安定という課題があります。」

メーカー

豆腐や揚げ、納豆の製造工程について説明がありました。
「生産者が品質の良い大豆を大切に育ててくれることに感謝し、組合員に美味しい商品を届けられるよう努力しています。」

産の様子や産地からの生育状況の報告、豆腐・納豆メーカーからは製造方法の説明などがあつた後、グループに分かれて交流会が行われました。組合員からは、生産の様子やおいしい食べ方などの質問が活発に出ました。オンラインでもお互いを近くに感じられる交流会となりました。

2021年7月 シャボン玉月間 ポスター募集

せっけん運動ネットワーク

募集要項

でき上がり寸法: A3(縦42cm×横29.7cm) 色: カラー (紙またはデータ(PDF))

必ず入れる文字: 「見直そう! せっけんパワー 変えよう! 私と地球の未来!」 (2021年 キャンパコピー)

内容: 「せっけんを使う暮らしの提案」、「水環境保全についての提案」など ※裏面に住所、氏名、電話番号、所属生協名を明記する

締切り: 2021年2月19日(金) (詳細は所属生協へお問い合わせください)

送り先: 所属生協にお届けください (配達時に手渡しまたは郵送で)

賞金: 3万円(採用作品1点のみ)

2020年度 from ネグロス・クリスマスカンパ

ご協力ありがとうございました

最終確定額 5,257,476円 (2021年1月12日現在)

寄せられたカンパはAPLAをとおしてアジアの人々の自立に役立てられと共に、グリーンコープがネグロスを支援していく活動に活かされます。

※アジアでの「農を軸にした地域の自立」をめざす人々が協働する場をつくりだすことを目的に設立されたNPO法人

12 つくる責任
つかう責任

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



2020年度 酪農生産者交流会 11月4日(水)

産直びん牛乳を 飲み続けよう!

連合会
商品おすすめ委員会主催
タオルとメッセージを
贈る取り組み

思いを伝え合い、生産者と顔の見える関係を深めました。

グリーンコープでは、産直びん牛乳の生産者と組合員が交流する「酪農生産者交流会」を年2回開催しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面での交流や視察が難しいため、オンラインで開催し、14生協から35名の組合員が参加しました。当日は生産者からのライブ配信で牛舎のようすも届けられました。

組合員の皆さんから届く
タオルとメッセージが
生乳づくりの励みになります!

牛舎のようすを
ライブ配信

(有)エバーランド
永田 大貴さん

- 経産牛96頭、育成牛85頭を飼育
- 1日の出荷乳量2500kg



毎朝4時から搾乳を開始し、夜7時頃に1日の仕事が終わります。搾乳中の牛は自由に餌が食べられるようにし、1頭がゆっくり休めるスペースを確保しています。

牛が健康に過ごせるように様々な工夫をすることで乳量も増えています。世話をすれば、ちゃんと応えてくれることが嬉しく楽しいです。子育てと同じような感覚です。



オンラインで
タオルと
せっけんの
目録を贈呈

酪農生産者non-GMO牛乳生産者会 委員長の高宗寿一さんへ、15の生協の組合員から寄せられたタオル2万2812枚の目録を贈りました。



酪農生産者non-GMO牛乳生産者会 副委員長の右田祐樹さんへ、グリーンコープの「お洗濯のしゃぼん」66kg分の目録を贈りました。



組合員が大好きな産直びん牛乳への思いを59冊のメッセージに込めて届けました。

初めてのオンライン交流会の呼びかけでしたが、快く引き受けてくださり、8名の生産者に参加いただきました。連合会商品おすすめ委員長の金田幸代さんより、「今年も皆さんと直接お会いして、お顔を見ながら交流したい」と思っていました。今回はオンラインでさせていただくことになりました。オンラインで開催することで、これまで参加が難しかった遠方の生協

組合員、生産者、メーカーが
オンラインでつながり、
思いを伝える

の委員も、参加することができました。生産者の皆さんのお話や思いをお聞きし、今後の利用拡大への活かしにしようかと挨拶しました。グリーンコープからは、各生協の組合員が、コロナ禍でも工夫を凝らしながら、利用普及と予約の取り組みをすすめるようすが報告されました。後半は6班に分かれ、生産者を囲んでグループ交流を行いました。交流会の最後に、グリーンコープ生協(長崎)の森久恵さんが、「学習

を飼育することはとても大変だということを知りました。そのような中でも毎週私たちが届く産直びん牛乳がきちんと届くのは、生産者の皆さんが牛の飼育環境を整えて、お世話をしてくださっているおかげです。飲み続けることが、生産者の方々に応援することにつながると思っています。これからも産直びん牛乳の利用の呼びかけをしていきます。来年はぜひ熊本で交流できることを願っています」と締めくくりました。



グリーンコープ生協ふくおか
南地域 理事長
砥上 叔子

5G、超高速・大容量通信システム。最近CMでもよく耳にするようになった。スマホだけでなくあらゆる端末がインターネットを通じて連携し便利になるとのこと。車の自動運転がその代表だ。

5Gに使われる電磁波はこれまでの4Gと比較して格段に強い。強い分、遮蔽される割合が大きいので、あちこちにアンテナを設置する必要があり、そのアンテナもガラス製や20cm辺程度の小型だったりする。いつの間にか設置され気が付かないだろう。

5Gの電磁波が人体だけでなく環境に与える影響を懸念している欧州や米国では、基地局の設置規制、設置した場合の情報開示、5G導入禁止など対策を講じている。

日本は企業利益を守るという点から情報開示はされない。

グリーンコープは情報開示を命としている。一人一人が得られた情報から考え行動していく。私たちの行動が結果になる。

おおさか

毎日スムージーやカフェオレにして飲んでいました。お菓子作りにも大活躍です。「産直びん牛乳を感謝していただく!」を合言葉に、おいしく飲んでいました。これからもずっと飲み続けます。

メッセージ動画の一部▶



おおいた

カフェカプチーノ、ダルゴナーコーヒー、カフェミルク杏仁など、72℃15秒殺菌の産直びん牛乳本来のおいしさを味わうため、なるべく熱を加えないレシピを考えて紹介しました。これからもたくさん飲んで応援します。



▲カフェカプチーノ
牛乳がふわふわに泡立ちました!

とっとり

新規で定期予約して4週間利用を続けた方を対象に、選べるプレゼント企画を行い、新規で110本の定期予約の申込みがありました。プレゼント後も予約数が急に減ることなく、取り組みを始めた2年前より利用が伸び、成果を実感しています。



(長崎)

利用したことがない方へ20%引きのお試し企画を行い、電話や手紙で定期予約の案内をしました。配送ワーカーの声かけや、職員と連動して取り組みをすすめたことで、163人の方から193本の定期予約の申し込みがありました。



各生協が年間を通して産直びん牛乳をアピール

誰もが安心して暮らせる 地域づくりをめざして

4
連合会・共同体
委員会紹介

グリーンコープ共同体

福祉 委員会

グリーンコープは、組合員が主体となって検討・決定する仕組みをつくり、運動や事業をすすめています。その仕組みの一つ、グリーンコープ連合会と共同体に属する4つの委員会をシリーズで紹介いたします。

第4弾は、共同体福祉委員会を紹介いたします。

グリーンコープでは、誰もが住みなれた街で安心して暮らせる地域づくりをめざして、組合員の地域福祉への夢を一つひとつ実現してきました。その取り組みは、高齢者支援に始まり、障がい者支援や子育て支援、社会で孤立する人や困りごとを抱える人の支援などに広がっています。

共同体福祉委員会は、グリーンコープの各生協の地域福祉の取り組みが活性化し豊かになるように、グリーンコープの福祉を学習会や視察研修などを通して学んでいます。また、各生協や社会福祉法人グリーンコープの情報や課題を共有し、相談・協議する場となっています。

地域福祉を 自分たちの課題として

グリーンコープに福祉委員会が誕生したきっかけは、1993年に策定された中期計画基本構想「夢をかたちに」です。自分たちの身近にある課題の一つとして「地域福祉」が大きく取り上げられました。1994年、「グリーンコープ福祉政策」が採択され、政策に基づき組合員の組織として誕生したのが、連合福祉委員会です。

2007年度には、各

保育園、自立支援施設の「抱樸館福岡」などを見学します。現場で働くワーカーや職員の思いを聞いて理解を深め、グリーンコープの福祉が地域に広がっているようすを実感しています。

各生協の福祉活動について 共有・相談する場

各生協の福祉委員会や生協全体で取り組んでいる福祉活動について報告共有し、意見交換を行っています。各生協からの相談には、実践している生協から資料を提供したり、アドバイスをしています。また、チラシやリーフレットなどの内容や活用方法も共有して、各生協が新たなヒントや発想を得て取り組みに活かせるようにしています。

2020年度は13の生協から23人の委員が参加しています。新型コロナウイルス対策のため、学習会や視察研修を含めオンラインでの開催となりましたが、委員一人ひとりの思いを大切にしながら、ていねいな意見交換を続けています。



委員会の内部学習会
2019年度の活動の様子



福祉施設の視察研修で名島りすの森
こども園を訪問
2019年度の活動の様子

委員長とお二人の委員に聞きました

「委員は皆、同じ方向を向いて頑張る仲間です」

委員長として
大切にしていることは？



委員長 中本 瑞樹さん
グリーンコープ生協
ふくおか

中本 委員の皆さんの福祉を学びたいという意欲はとても強いです。各生協で福祉の活動や事業の歩みも内容もそれぞれ違いますが、学習会や生協間の情報交換を通して学び共有した情報が、各生協の福祉活動の原動力になるようにと心がけています。

委員会に出席する
楽しみ、やりがいとは？



小林 香織さん
グリーンコープ生協
くまもと

小林 それぞれの生協がどのような思いで活動されているのかを知り、共有でき、新鮮に感じます。グリーンコープの福祉の取り組みを知っていくと、グリーンコープの商品への思いや環境、平和への考え方の理解も深まるようになりました。福祉の活動以外にも興味湧いて、組合員活動がとても楽しくなりました。また、以前学習会で聞いた「平和の究極の姿は福祉」という言葉がとても印象に残り、その言葉をくまもとの活動の中でどう活かしているか考えているところなんです。



委員 森谷 美絵子さん
グリーンコープ生協
おおさか

森谷 おおさかには福祉活動の歴史が浅く、これからいろんな活動に取り組んでいきたいと思っています。委員会ではグリーンコープの他県生協(以下、他生協)の皆さんが頑張っていることに刺激を受け、「そんなことができるんだ」とワクワクしながら聞いています。昨年度、福岡市にある高齢者福祉施設や保育園、抱樸館福岡などを見学して、グリーンコープの福祉が地域に根付いていることを実感しました。新しい情報を知り、学習会で学び、福祉について考えることがとても楽しいです。

どんな委員会ですか？

小林 みんな同じ志を持っているから、集まった瞬間から「仲間」という感じになります。すごく居心地のいい委員会です。

森谷 委員長はじめ皆さんやわらかい雰囲気、いろんな意見を受け止め、教えてください。委員会の空気感がとても好きです。今年度の委員会はオンライン開催となり、直接話ができないのが残念です。

中本 これから福祉に取り組む生協では、多くの人への働きかけが必要になるので、とても大変でエネルギーが必要なんです。それでも委員さん方からは、「ないならつくろう」と、やる気がみなぎっているのが伝わってきます。かつて先輩組合員はこんなふうに地域福祉をつくってきたのかと想像し、元気をもらっています。

委員会です。委員の皆さん一人ひとりが主役です。委員によって知識や経験も様々なので、それぞれが一生懸命考えて発言されることに寄り添うようにしています。寄り添い続けるグリーンコープの福祉を学ぶために、まずは寄り添う委員会でありたいと思います。

福祉委員になって
それが変わったことは？

小林 社会や福祉の事柄にアンテナを張るようになりました。例えば、生活困窮者や虐待についての報道があれば、もっと知りたくなり調べたりしています。また、物事をいろんな角度から考えられるようになり、人に対する許容範囲が広がって相手を受け入れやすくなりました。困っている人には寄り添いたいと思うようになりました。

森谷 社会で起きていたことを知らなかったことを、知ることができました。今の日本に食事を満足に摂れない子どもがたくさんいることを知って驚き、組合員活動で何ができるか考えるようになりました。多くの人に知ってもらうことも福祉の取り組みの一つだと考えて、発信することを意識しています。

福祉委員会が
めざすものは？

中本 「福祉II介護」ではなく、「福祉II生活そのもの」と考えるのが、グリーンコープの福祉です。委員会ではグリーンコープの福祉が地域づくりにつながり広がっているようすを学び、「福祉があるからグリーンコープ」を実感できます。委員の皆さんが学んだことをそれぞれの地域で活かすことができ、グリーンコープの素晴らしい福祉の理念が自然に広がればと思います。そしていつか、グリーンコープの福祉の考えが地域を超えて日本各地に浸透し、組合員でなくても、誰もがどこでも安心して暮らせる世の中になると、活動の最終目標かなと思います。



現代社会の生命に対する認識(やまゆり園の事件)について

生きることに意味がある、生命そのものに意味がある

共同体福祉委員会が主催する、2020年度第1回福祉拡大学習会が、2020年10月15日にオンラインで行われました。講師にNPO法人抱樸理事長の奥田知志さんを迎え、2016年に発生した相模原障がい者施設殺傷事件(やまゆり園の事件)と、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を通して気付いた、生命の大切さについてお話しいただきました。当日の講演要旨を紹介します。



奥田 知志さん

プロフィール

NPO法人 抱樸(旧北九州ホームレス支援機構)理事長。牧師。
1990年、東八幡キリスト教会に赴任。学生時代から始めた生活困窮者支援に今日まで取り組み続ける。
社会福祉法人 グリーンコープ 元副理事長
公益財団法人 共生地域創造財団 代表理事

さがみはら 相模原障がい者施設殺傷事件

2016年7月26日未明、神奈川県相模原市の知的障がい者福祉施設「津久井やまゆり園」で発生した大量殺人事件。

新型コロナウイルスが教えてくれた三つのこと

新型コロナウイルスの感染拡大により大変な社会状況になっている。しかし、現在噴出している問題は、感染が拡大する前から起きていたことでもある。今後、多数の人が失業し、家まで失う人がますます増えてくるだろう。

新型コロナウイルスは悪いことばかりではなく、教えてくれたことが三つある。その一つ目は、私たち全員が当事者になったということ。もはや一部の問題ではなく、世界全体がこの問題を引き受けざるを得なくなった。

新型コロナウイルスは飛沫感染によって人から人へ感染する。世界は人でつながっている。自分だけ生き延びようという考えは通用しない。世界全体が感染した今の状況では、全員が生き残ることを考えなければならぬ。世界が滅びるか、生き延びるかという時に、他国を攻撃するための軍事費を増やそうと言っている場合ではない。いろいろな面で分断されている世界が、新型コロナウイルスという共通項でつ

ながったと言える。ウイルスに打ち勝つためには世界が協力し合う必要があるが、これはなかなか難しい。誰もが自分のことしか考えていないからだ。昨年の春には、多くの人がトイレレットペーパーを買い占めた。実は、なくなったのはトイレレットペーパーではなく、本来私たちの心の中にある「他者性」だ。この20、30年で「自分だけ」という感覚が、私たちの根っこの部分に染みついてしまった。

「助ける、助けられる」という関係の中でしか人は生きていけない

新型コロナウイルスが教えてくれた二つ目は、人間とは何かということだ。人間は一人では生きていけない。私たちは、生命を守るためにステイホームした。しかし、全ての人がステイホームすると、世界が全滅してしまう。ゴミを集める人、水道を管理する人、医療関係者など、アウトホームで働く人がいたから、ステイホームができたのだ。助ける、助けられるという関係の中でしか人は生きていけない。みんなに分かち合うことを

生命が最優先の社会であってほしい

三つ目は、生命が一番大事なことだ。日本人は勤勉で真面目なので、生命より仕事のほうを大事にしがち。新型コロナウイルスの感染拡大で、多くの人が仕事に行かなくなった。仕事より生命が大事だと気付いたのだ。生命を最優先する社会であってほしい。

生命に格差が生まれ始めている

2019年、戦後最大の台風19号が日本に上陸し、暴風雨の中、ある避難所にホームレスの人たちが避難してきた。避難所の職員は、「ここは住民の避難所だから、あなたたちには入る資格がない」と嵐の中に彼らを押し戻した。経済だけではなく、生命そのものに格差ができてきている。そのような社会で、やまゆり園の事件は起こった。言葉でコミュニケーションがとれない重度の障がい者は、心が無い人で意味のない生命。意味のない生命はみんなの迷

惑であり、その迷惑を取り除くのは「公益」である、というのが事件を起こした、やまゆり園の元職員の話だ。自分は「善いこと」をしている、みんなのためになることをしていると思っている確信犯だった。

彼にとって「善いこと」と「悪いこと」の境目は、生産性があるかないかということになる。生産性とはお金を生み出すこと。生産性が高くなければいけない、社会に役立つ人間でなければいけないという圧力は、実は私たち全員にかかっている。事件直後、生きる価値のある生命とそうでない生命の分断線を彼が引いたと報道されたが、実は事件が起きる前から、私たちの社会では、生産性の高い人間と低い人間、意味がある生命とない生命の分断線が引かれていた。彼の基準では、彼自身も役に立たない側になっていた。これを逆転させるた

私たち一人ひとりが自らの問題として考えていく

「共生」とはどういうことか。人と人が生きていくこと、生命を大切にすることは大変なことだ。一人では太刀打ちできないから、共同体をつくり、組織をつくる。それが共

生社会。幸せになるために、生産性の圧力の中でみんなが上になることばかりめざしてきたが、本当に幸せになったのか。その結果がやまゆり園の事件だとしたら、私たちは何をやってきたのか。やまゆり園の事件や新型コロナウイルスは、私たちにちょっと立ち止まって現代の問題を考え、もう一歩進化する過程を与えようとしている。

生産性が高くなければいけないという圧力は、すべての人を当事者として、そこから逃れられる人はいない。私たち一人ひとりが、そのような社会を生きている一人の加害者としてこの事件を考えていくこと、生命を大切にすることはどうだろうか、単純に答えを出せない問いかけを自問していくことが大事だと思う。

生命に、意味がある生命とない生命の区別はない。生命そのものに意味がある。

投稿コーナー

私の好きなグリーンコープ商品

産直人参

世の中は、新型コロナウイルスの流行で、外出もなるべく自粛とのことで大変なことになっています。グリーンコープに入ってもう40年近く、本当に助かっています。特に主人と私、野菜の中で気に入っているのが人参です。甘くて、とてもおいしいので、きらさないよう気をつけています。スライスした人参とツナをレンジで2分位チンして、ポン酢をかけるだけでとてもおいしい一品ができます。ぜひ、おためし下さい。

グリーンコープ生協ふくおか 宮本 久美子



投稿募集

うちの家族の好きなグリーンコープ商品

● 250字程度
● 毎月月末
● 住所氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。
● 掲載分にはグリーンコープ(グリーンコープ商品)の購入に利用できます(500円分を標準)。
● 住所氏名などの組合員の個人情報、本紙に掲載の場合のみ使用します。
〒812-8561 福岡市博多区博多駅前1丁目5-11
博多大博通ビルディング3F
グリーンコープコミュニケーション
ワンカース連(REN)
FAX 092-481-7896
Eメールアドレス
tk@npo@greencoop.or.jp

3 すべての人に健康と福祉を

12 つくる責任 つかう責任



素材のおいしさとスパイスのうま味 こだわる大人の 贅沢カレー (中辛)



「家族が大好きなメニューだからこそ、安心・安全でおいしいものを選びたい」。グリーンコープには、そんな母親の思いをかたちにしたカレーが揃っています。

「**贅沢カレー (中辛)** (以下、贅沢カレー) は、不要な食品添加物や化学調味料を使わずに作った、素材のおいしさが味わえるこだわりのカレーです。産直の肉や野菜を加えて、我が家流の贅沢カレーをお楽しみください。」

お好みにあわせて選べます

グリーンコープのカレーは、安全性に不安のある食品添加物は使っていません。素材の味を生かすため、化学調味料も使いません。原材料もできる限り国産原料を使用しています。

我が家のカレーに加えてみませんか。数種類のルーを混ぜて作るオリジナルカレーもおいしいですよ。

本格的な手作りカレーをご家庭で (粉タイプのルー)



緑カレー辛口 (セパレート)

普段使いしやすい我が家の定番カレー (固形タイプのルー)



緑すご腕カレー (辛口) 22種類の香辛料を配合した辛口のカレー。



緑カレー甘口 (セパレート)

チャツネとルーのダブルパックでお好みのおいしさが楽しめます。



緑すご腕カレー (中辛) まろやかさを出すためにチャツネを使用しています。



他にもいろいろ



緑すご腕カレー (甘口) りんごソースとはちみつで、まろやかさを出しました。



緑キッズカレー 辛さを極力控えた幼児向けのカレーです。



緑レトロカレー (中辛) 国産牛ミンチ、国産野菜を使用。甘口もあります。

組合員がほしい商品を組合員の手でかたचित

贅沢カレーは、組合員の「おいしくて使い勝手の良い固形タイプのカレーがほしい」という声にこたえて、2005年に誕生しました。家庭の人気メニューで利用が多い商品だからこそ、みんなに愛されるカレーをめざし、多くの組合員が検討に関わりました。味の検討では、各生協の組合員が試作品を試食し、好評を得た試作品で商品化をすすめることになりました。

贅沢カレーは、メーカーが自社焙煎した21種類のこだわりの香辛料を使った、スパイスの風味が際立つ奥深い味わいのカレーです。トマトやたまねぎなどの野菜のうま味に、マンゴーチャツネの甘味や酸味を合わせることでコクを出し、モッツアレラ、チェダー、ゴルドの3種類のナチュラルチーズでまろやかに仕上げています。

とろみの素となる原料には、国産小麦粉を使用しています。

素材のよさと香り高いスパイスで奥深い味に

化学調味料無添加、他にはないカレーです

平和食品工業(株) 特販部 押川哲明さん

贅沢カレーの開発には半年以上かかりました。グリーンコープと一緒に商品を開発するのは初めてで、原料をグリーンコープの基準に合ったものに変更していくことに時間をかけました。コクを出すために一般的なカレールーにはチーズ加工品を使いますが、副原料として乳化剤が使用されていることが分かり、グリーンコープの基準に合ったナチュラルチーズに変更しました。

贅沢カレーは、食品添加物やたん白加水分解物などでごまかすことなく、ナチュラルチーズ、フライドオニオン、グリーンコープの基準に合ったナチュラルチーズに変更しました。

贅沢カレーは、食品添加物やたん白加水分解物などでごまかすことなく、ナチュラルチーズ、フライドオニオン、グリーンコープの基準に合ったナチュラルチーズに変更しました。

贅沢カレーが誕生してから16年、たくさんの方の愛をいただいています。これからも皆さんに愛される商品を作り続けていきたいと思います。

贅沢カレー商品開発ストーリー

贅沢カレーを製造する平和食品工業(株)に話を聞きました。



2020年12月の組合員数 429898人 (12/20現在)

リユース、リサイクルデータ 2020年11月分 (回収率)		フードマイレージ 2020年12月に組合員の利用によってたまったのは	
牛乳びん 回収率 98.2%	トレー 回収率 46.0%	7,043,435.5 CO2に換算して704トン削減したことになります	2009年9月からの累計は、837,009,568.5ポコ
リユースびん 回収率 43.6%	仕分け袋 回収率 13.1%	アジア民衆基金 2020年12月に組合員の利用によってたまったのは	
モールドバック 回収率 92.7%	カタログ 回収率 71.5%	698,762円 2009年4月からの累計は、79,596,063円	

グリーンコープと市販品の原料の比較

贅沢カレー	一般(市販品)の例
食用油脂(牛脂(国内製造)、豚脂)、小麦粉(小麦(国産))、糖類(砂糖、乳糖)、食塩、カレー粉、ポークオイル、ビーフエキス、麦芽エキス、酵母エキス、香辛料、乳等を主要原料とする食品、チキンエキス、野菜ブイヨン、フライドオニオンパウダー、トマトパウダー、粉末しょうゆ、チャツネ、チーズ、脱脂粉乳、(一部に小麦・乳成分・牛肉・豚肉・大豆・鶏肉・りんごを含む)	食用油脂(牛脂豚脂混合油(国内製造)、パーム油)、小麦粉、でんぷん、食塩、カレーパウダー、砂糖、ソテーカレーペースト、オニオンパウダー、玉ねぎ加工品、ごまペースト、デキストリン、香辛料、脱脂大豆、全粉乳、ガーリックパウダー、たん白加水分解物、酵母エキス加工品、ぶどう糖、ローストガーリックパウダー、チーズ加工品、濃縮生クリーム、香味野菜風味パウダー、酵母エキス、チーズパウダー/調味料(アミノ酸等)、カラメル色素、乳化剤、酸味料、香料、甘味料(スクラロース)、香辛料抽出物、(一部に乳成分・小麦・ごま・大豆を含む)

一般には様々な添加物が使用されています。

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with 15 columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, 検査結果 (ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137), 検出限界値 (ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137). Rows contain detailed inspection data for various food items.

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, 検査結果 (ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137).

検査結果については、ホームページでも週に一度のペースでお知らせします。表記についてもホームページと同様にしています。

●放射性セシウムの基準値について

2012年4月からの国の基準は、一般食品100ベクレル/kg、乳児用食品・牛乳50ベクレル/kg、飲料水10ベクレル/kg以下です。

グリーンコープは取り扱うすべての商品や原料について10ベクレル/kgを自主基準とし、10ベクレル/kg以上の数値が出た場合、一般社団法人グリーンコープ共同理事会に報告し、取り扱いについて検討・決定することとしています。

●グリーンコープでの放射能検査内容と報告について

検査対象 エリア グリーンコープでは、商品や原料について放射能汚染が心配される地域は関東から東北地方が中心であるものの、必ずしもエリアを限定して考えるべきではないという判断で、また利用される組合員の心配に対応するためにも検査対象を全国に広げています。また外国産の食品も検査対象にしています。

検査対象 2011年3月11日以降に、生産・製造・保管されていた商品及び原料を順次検査しています。定期的なサイクルで検査を行えるよう年間計画を立てて検査します。

検査機関 2011年10月よりグリーンコープ放射能測定室(福岡市)で検査をしています。

測定日 検体を測定した日を記入しています。

検査結果の表記 ヨウ素131とセシウム134、セシウム137の3種類について結果をお知らせします。検出限界値未満の結果については「検出せず」と表記します。「検出限界値」とは、測定において検出できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。 ※検出限界値未満とは、放射能は0ではなく、放射能は存在する可能性があるということです。厚生労働省から2011年9月29日付けで、検出限界値未満の結果については、測定によって得られた検出限界値を表示するよう通知がなされており、国や自治体から公表される検査結果には、検出限界値が表示されるようになりました。